

【学校教育目標】

未来を拓くなかむたっ子の育成

・進んで学ぶ子(確かな学力) ・心をみがく子(豊かな心) ・体を鍛える子(健やかな体)

【教育課題】

- ・主体的に学ぶ意欲と自己調整力の向上
- ・基礎的・基本的な学力の定着(剥がれ落ちない学力)
- ・規範意識の育成(学習規律・挨拶・言葉遣い)
- ・運動習慣の定着と食への感謝の態度の育成

【経営課題】

- ・全ての学年で実践する主体的・対話的で深い学びの授業改善(自己調整しながら学習を進める学びの展開)
- ・主任、チーフを要とした組織的・協働的な組織運営の充実
- ・日常的なコンプライアンス意識の醸成

【本年度の重点目標】

自ら学びを創り出す子どもの育成

～ 元気に**あいさつ**・めあてに**チャレンジ**

【進んで学ぶ子】

- 課題を見つけ、自分で考え、他者と協働して学び合う楽しさを味わう子ども(学習を調整する力の育成)
- 学びにおける自己の成長を感じることができる子ども

【心をみがく子】

- 自他共に認め合い、気持ちのよい生活を創る子ども
- ・気持ちのよいあいさつ
- ・丁寧な言葉かけ
- ・基本的な生活習慣、学習規律

【体を鍛える子】

- 自らの目標に向かって心と体を鍛える子ども
- ・目標を掲げ最後までやり抜く
- ・食に感謝し健康づくりに励む(食育、立腰)

<Nakamuta> **3つ**のこだわり **あいさつ**・**ことば**・**そろえる**(時間・名札・姿勢・かかと)

【評価指標】

- 学校が楽しい、授業がわかる 90%(学期末/児童アンケート)
- 学びを調整する力の育成に係る項目 80%(学期末/児童アンケート)
- CD層の子どもの割合前年度比 10ポイント減少(全国・県・標準学力テストの結果/各調査後)
- マナーやルールを守ろうとする態度の育成に係る項目 80%(学期末/児童アンケート)
- 保護者による学校評価「信頼される学校」項目の肯定的評価 80%(学期末/保護者アンケート)

【経営の重点】

【組織運営の充実】

- ◆学校運営への参画意識を醸成する協働的組織運営
 - 取組のゴール像を明らかにし、「評価・改善」による実践
 - ・チーフによるマネジメントと進捗状況の管理
 - ・運営委員会、主任会、3部会
- ◆重点目標を具現化する学年・学級・保健室運営の充実
 - 学年主任を要とした組織運営
 - ・学年主任会による月ごとの評価・改善
 - 重点目標が具現化される学級経営
- ◆同僚性による組織運営の充実
 - 声掛けと共同実践、評価、改善
 - ・+αの心くばり、気くばり
- ◆学校評価に基づく取組の改善
 - 学校運営協議会による関係者評価の充実

【教育課程の共同実施】

- ◆「進んで学ぶ子」を育む教育課程の推進
 - 学力向上の取組の充実
 - ・基礎・基本の定着:CD層を中心に
 - ・学びを自己調整する力の育成
 - ・交換授業、教科担任制の実施
 - ・ICTを活用した協働の学びの充実
 - 学びに向かう力を育む環境づくり
 - ・教室環境づくりの徹底(気がまえ、身がまえ、物がまえ)
- ◆「心をみがく子」を育む教育課程の推進
 - 規範意識や人権感覚を育む共通実践
 - ・生活習慣(言葉遣い、挨拶、整理整頓)や学習規律の指導の徹底
 - ・いじめを生まない人権感覚を育成する授業づくり
 - よさを認める場づくり(非認知能力)
 - ・各学年、学級、委員会、児童会活動
- ◆「体を鍛える子」を育む教育課程の推進
 - 運動(長縄、外遊び)の目標設定
 - 食育・防災・安全教育の充実
 - ・「姿勢・立腰」の徹底指導
 - ・「残食0」へのチャレンジ指導の徹底

【実践的指導力を磨く研修の充実】

- ◆新たな学びを展開できる実践的指導力を磨く校内研修の推進
 - すべての学級・教科で実践する「新中牟田スタイル」
 - ・自己調整力を生かした授業改善
 - 筑後地区小教研理科研究発表に向けた授業づくり
- ◆教職員の人権感覚・意識の育成
 - 個別の課題に対応する実践研修
 - ・授業公開、実践交流
- ◆多様化・複雑化する教育課題対応力の育成
 - ・いじめ・不登校対応研修
 - ・特別支援教育研修
 - ・ICT活用・安全対策
 - ・SNS・ネットいじめ対応研修
- ◆キャリアステージに応じた人材育成
 - なかむたOJT
 - ・教員の専門性を生かす研修
- ◆不祥事防止の徹底

【危機管理】

不祥事の防止 安全管理・危機管理意識 働き方改革と健康管理 感染症・食物アレルギー
(校内研修の実施)